

「住吉の語り部となりたい」 シリーズ第18回

料亭つたも主人・深田正雄

2012年9月20日

住吉から栄ミナミに変遷！ 中高年男性の街から、お洒落な若者の町に 二人のカリスマ：神谷&稲本コンビ

南呉服町に竈（へっつい）、末広町に舌頓？「ZETTON」なんとも意味不明なユニークな飲食店が平成6年頃にオープン、近くで森島羅紗店を運営していた私は斬新なネーミングと若者の「和」の感性にビックリした鮮烈な印象が今でもあります。本町通りの南端、子供の頃から親しんだ味岡屋・長崎さんの古民家（現在・猫カフェ）が床や天井、壁などをリストアしながらオープンカフェ・ゼットンとして冬場に開業、斬新さに誘われ若い社員たちと洒落た気分で見冬の屋外カフェで寒さに震えながら膝掛をつかいながらドライマティーニを飲んでおりました。

聞けば設計企画は西尾出身の神谷利徳氏、経営者は金沢からのバーテン稲本健一氏とのこと、二人とも30歳前後の若造！素敵なお店でしたがお客がサッパリ！冬場にオープンバーとは？？しかし、ZETTONのコンセプトに惚れた私は、多くの仲間や友人を紹介して楽しんでおりました。そのうち、若者から話題となり満席状況となりだした頃、今度は住吉町3丁目の大同別珍倉庫が稲本さんの「ODEON」（現在・アロハテーブル）という居酒屋に変身、貨物用エレベータしかない5-6階には「神谷デザイン事務所」の看板が上がりました。

そして、数年の間にカリスマ設計士「神谷」先生が関与するそれぞれ異なったコンセプトの飲食店がラーメン店からカフェなど地域に20店舗以上を数えるようになり、それぞれが若い女性にうけるのか大繁盛「神谷神話」と話題となりました。蔦茂南の小生所有地で神谷氏監修設計「そぞろあるき」を平成14年夏に開業いたし繁盛しておりました。

パルコ、ナディアパークのオープンも影響して、地域の客層が仕事帰りに中高年サラリーマンが飲みに行く町から若い女性が楽しめる街に変貌、名称も住吉から「栄ミナミ」と呼ばれるようになってきました。

その頃、福岡から滋慶学園が矢場町呉服卸商「丸為」跡地に進出、名古屋コミュニケーションアート専門学校NCAとして学生数1300名以上が毎日、栄ミナミに通学、地域活性化に貢献しております。モリシマも若い潮流に対応するためゲインさんとレストラン「むらい」を開業、ビレッジバンガード栄中央店を誘致、そして、矢場町を中心に若い女性好みの「カリスマ美容師」ヘアショップが多く林立する明るい街となってまいりました。

そして「栄ミナミ」と名付けた株式会社ゲインの藤井英明さんが雑誌ケリーや多くのマス

コミ媒体を通して地域PR，美容関連ショップの誘致・開業指導、そして、レストラン運営など幅広く関与、矢場町にある中堅繊維・スポーツ問屋などがブランドショップなどに様変わりしてまいりました。

同時に地元は公園と緑に恵まれた居住地区が独特にミックスしており、特に矢場町一丁目町内会など、活発な住民のチームワークで公園の美化や地域清掃、挨拶運動もユニークなものがあります。具体的にはホームレス排除、違法風俗営業規制、カジノや客引き撲滅など各町内を超えて栄中部が一体となって、「歩いて楽しい栄ミナミ」作りに邁進しており、よそ者・若者がチャレンジできる町として変身を遂げつつあるといえるでしょう。

そして、栄ミナミの変革のキッカケとなった神谷氏は店舗、住宅、商業施設など1000件以上を手がけるほか、デザインスクール「SO-CO」設立、今月、中日ビルにて開催された西川流“名古屋をどり”の舞台美術まで八面六臂の活躍といえましょう。

栄ミナミとともに育った稲本氏は下記のように幅広い飲食業展開、Zettonは10月矢場公園で開催される第2回名古屋グルメ選手権“NAGO-1グランプリ”の優勝候補として活躍が期待されます。

<http://www.sakaeminami.com/nago-1/>

写真：

稲本の盟友、空間デザイナー神谷利徳。「稲本君が飲食業を始めるとき、背中を押したのは僕かもしれないが、僕をメジャーにしてくれたのは稲本君です」



神谷利徳氏



稲本健一氏

稲本健一 プロフィール

1967年12月11日石川県金沢市生まれ。40歳。A型

名古屋造形芸術短期大学でプロダクトデザインを専攻。

卒業後、東京の商社に就職するも、

半年後に名古屋のデザイン事務所へ転職。

大学時代から続けていたバーテンダーのアルバイトが

飲食人生の原点となる。

1993年に期間限定ビアガーデンのプロデュースを請け負い、

成功を収めたことをきっかけに、

本格的に飲食ビジネスの世界へ。

1995年10月 株式会社ゼットンを設立。

1号店となる「ZETTON」(名古屋市中区)がオープン。

そして、2001年の「ZETTON恵比寿」(東京都渋谷区)の

オープンを皮切りに東京へ進出。

味噌串カツや石焼ひつまぶしなど「名古屋めし」を東京に持ち込み、

東京のダイニングシーンに衝撃を与える。

現在、「店づくりは街づくり」という基本理念のもと、名古屋・東京を中心に38店舗を展開。

飲食を通して街の活性化、新しい文化の醸成に貢献するべく、

公共施設開発事業、および商業店舗開発事業を戦略事業として推し進めている。

また、「ガーデンレストラン徳川園」(名古屋市東区)や「THE TOWER RESTAURANT NAGOYA」(名古屋市中区)などでは、当社のレストランの魅力を最大限に生かしたレストランウェディングを

執り行っており、2006年にはブライダルサロン「Heritage Bridal Collection」

(<http://www.heritage.co.jp>)

もオープン。

2009年4月には、東京・横浜・名古屋に展開するアロハテーブルのフラッグショップをワイキキにオープン。

5月には、リスト株式会社、株式会社TKスクエア、横浜エフエム放送株式会社3社との共同で横浜マリンタワー再生に関わる。

さらに、社内デザイン事業部を設け、グラフィックデザイナーやブレンとして大手外食企業や新進デザイナーの店舗開発にも参画している。

(<http://www.zetton.co.jp>)